



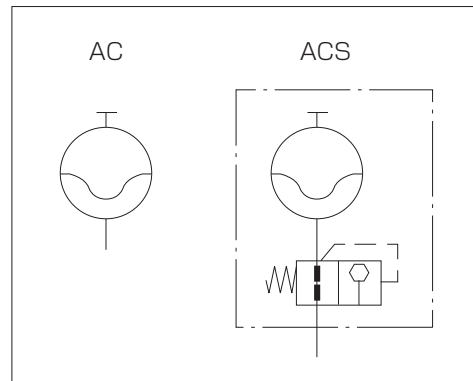
# Hawe 大同ハイドロリック 小型アキュムレータ

タイプAC

## 用途

- 漏洩補償** 圧力制御回路や、圧力保持作業において内部漏洩、外部漏洩による圧力の低下を補償し、圧力を一定にするために利用されます。
- 熱膨張補償** 温度変化による液体の体積変化で、内圧上昇、内圧低下が生じます。アキュムレータはこの圧力変動を少なくします。
- 脈動吸収** 使用することにより脈動を減衰する事ができます。

油圧シンボル



## 形式表示

### AC 13-1/4-50

- 1 基本形式
- 2 ガス容積
- 3 接続サイズ
- 4 ガス圧 (bar)、ACS13タイプは遮断圧力も合わせて指示

AC : 標準  
ACS : カットオフ弁付き

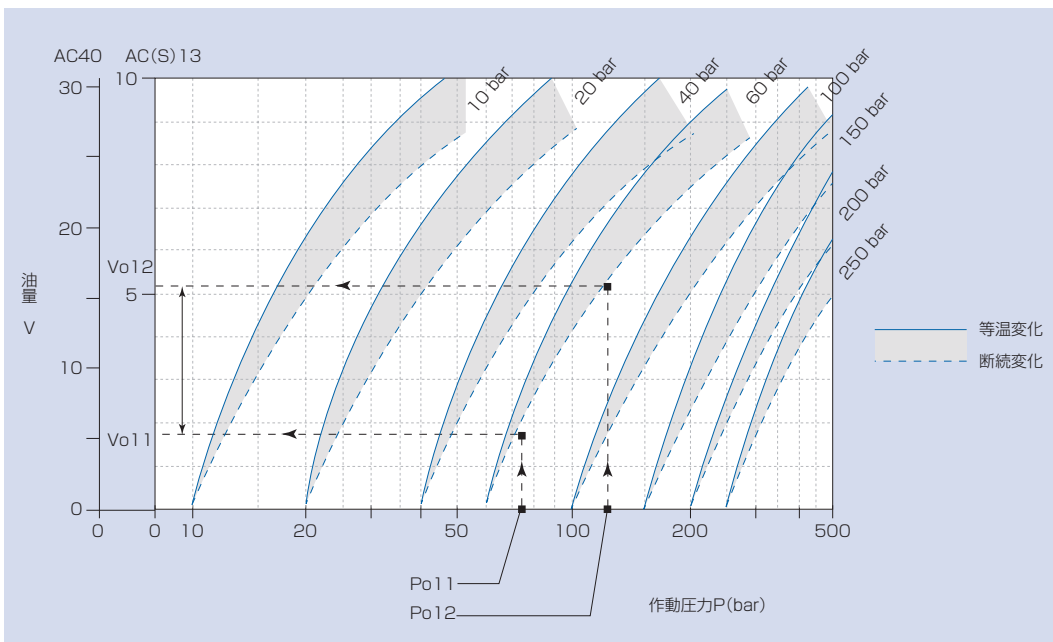
3 接続サイズ  
4 ガス圧 (bar)、ACS13タイプは遮断圧力も合わせて指示  
(例 : ACS13-1/4-50-110)

表示記号	ガス容積 V0 (cm <sup>3</sup> )	ガス圧 P0 (bar)	最大許容圧力 P4 (bar)	最大作動圧力比 P2max : P1max		質量 (kg)	カットオフ弁の 遮断圧力(bar)
				等温変化	断熱変化		
AC13-1/4-...	13	250	500	4 : 1	3 : 1	0.3	—
ACS13-1/4-.../...1)							20~100 80~200 180~300
AC40-1/4-...	40		400			0.65	—

## 仕様

仕様	取付け姿勢→任意、接続ネジサイズ→G1/4A (締付トルク : 約39Nm) 周囲温度→-20~60℃、最小破壊圧力→約4×P4 試験圧力→AC13 : 650bar、AC40 : 520bar このアキュムレータはドイツ圧力容器技術規定 (TRB522) に基づき、1.3×P4の圧力で検査しております。
作動油	粘度範囲 : 4~1500mm <sup>2</sup> /s 推奨粘度 : 10~500mm <sup>2</sup> /s 温度範囲 : -20~60℃
使用圧力	P0(bar) = ガス圧 (ご指示) P0max = 250 bar, P0min = 5 bar P1(bar) = 最低作動圧力, P1min ≒ 1.1 × P0 P2(bar) = 最高作動圧力, P2max ≒ 4 × P0 (等音変化) ≒ 3 × P0 (断熱変化)
重鎮ガス	窒素ガス

## 特性曲線



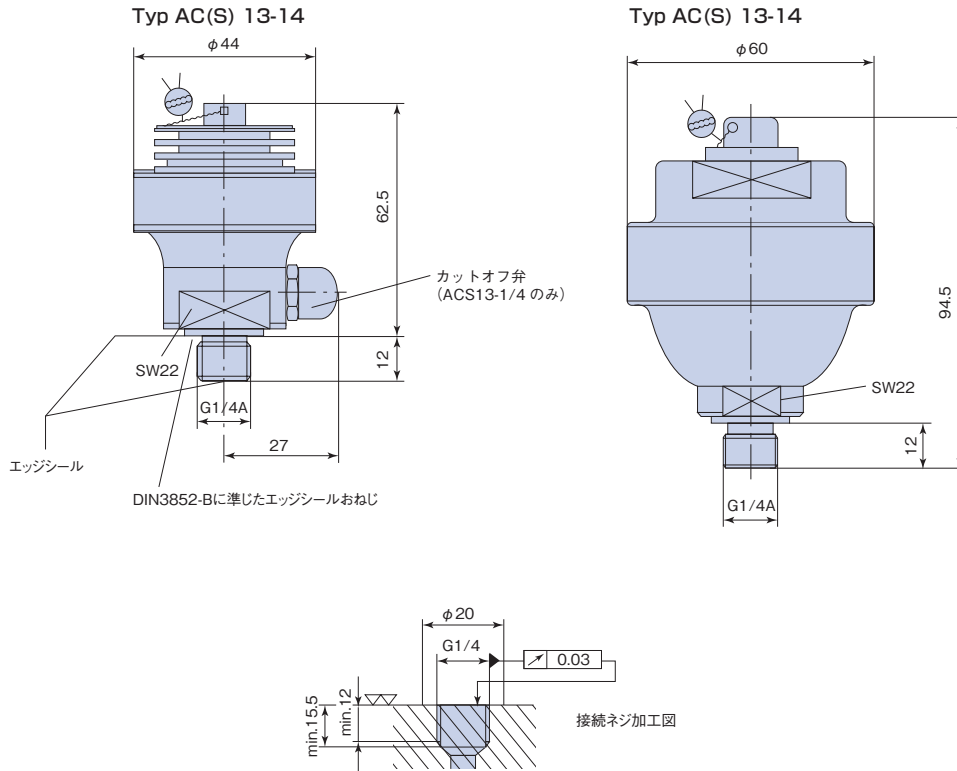
(注) この特性曲線は理論的な限界値を表しています。概略の必要吐出量を求める場合にご利用ください。  
例) 必要吐出量 V は上記グラフより  $\Delta V = V2 - V1$  (l) となります。  
クランプ回路などの漏洩補償用としてお使いの場合は、「等温変化」、急速な不可変動に対しては、「断熱変化」として計算してください。



# HAWE 大同ハイドロリック 小型アキュムレータ

タイプAC

## 寸法図



### 取り扱い上の注意

- ①ご注文どおりの製品であるかどうか、形式をご確認ください。
  - ②アキュムレータの最高使用圧力を超える圧力では、絶対に使用しないでください。
  - ③工場出荷時には、通常窒素ガスを封入しておりません。
  - ④アキュムレータに封入するガスは、必ず窒素ガスを封入してください。酸素、爆発性のガスは絶対に封入しないでください。空気も、プラダの寿命を短くしますので、使用しないでください。
  - ⑤ガス封入時、作業を安全かつ容易に行っていただくために、窒素ポンベには減圧弁を取付けてください。
  - ⑥異なる使用の流体を使用すると、プラダが膨張するなど、寿命を著しく低下させることがありますので、絶対に使用しないでください。
  - ⑦ガス封入、ガス圧点検時には、必ず液圧を開放してから行ってください。
  - ⑧分解、取外し時には、液圧、ガス圧を大気圧まで開放してから行ってください。
  - ⑨アキュムレータは毎年1回以上、定期的に保守点検を実施してください。
- |       |             |                  |
|-------|-------------|------------------|
| 封入ガス圧 | ガス・液体の漏れの有無 | 本体の損傷・その他の不適合の有無 |
|-------|-------------|------------------|
- ⑩アキュムレータを破棄する場合は、窒素ガスを完全に抜いてから行ってください。
  - ⑪アキュムレータにバネ式安全弁、溶栓、破裂板等がついておりませんので、回路内にリリーフ弁又はレギュレータを必ず取付けてご使用してください。